

## 第4回 第2次神崎市総合計画審議会 議事録

- 
- 日時：2017年12月25日（月）14:00～17:00
  - 場所：神崎市役所 3-1 会議室
  - 参加者：（敬称略）
    - 【委員】 芦原、姉川、佐藤、野副、西原、福山、吉原、副島、平島、古賀（俊）、中島、柳川、山田
    - 【事務局（企画課）】 宮地、鶴、篠木
    - 【ランドブレイン】 岩切、吉山 [記]
  - 欠席者：（敬称略）
    - 【委員】 江頭、古賀（義）、内村、岸川
  - 内容：
    1. 開会
    2. 会長あいさつ
    3. 議題
      - （1）基本構想（案） 「神崎市の将来像」について
      - （2）基本構想（案）について
      - （3）基本計画（案）について
    4. その他
    5. 閉会

---

（以下議事録、敬称略）

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議題

#### （1）基本構想（案） 「神崎市の将来像」について

（委員）

神崎市の名の由来について。「神埼郡」という言葉が出ているが、約1900年前に景行天皇がこの地を訪れ、神を祀り鎮めたことから「神幸」という言葉が生まれ、後に「神埼」に転じたというのが通説である。「神幸」という言葉を入れた方がいいのでは。

（事務局）

諸説あるため、担当課と再度協議する。

（委員）

将来像は老若男女みなが入りやすい、分かりやすいものにすべきであると思う。

将来像について市民ワークショップや職員がアイデアを出したが、どこの自治体も似通ったものが多いので、神崎市独自のフレーズを作っていきたい。

(委員)

とにかく分かりやすい、10年後の目標を共有できるようなフレーズにしたい。市民が幸せになるということを目指していることが伝わるような将来像がよいが、幸せとは何かを示す尺度が必要かと思う。

(委員)

市民ワークショップに参加した。現行の将来像が長いというわけではないが、取り扱いが大変。神崎市がどんなまちかと聞かれたときに返すことができるように、サブフレーズでもいいので一言で分かるものを作っておきたい。幸せ子育て事業、など。市民ワークショップでは「みんなで幸せまちづくり 神埼」というフレーズがあがっているが、それくらいシンプルの方がいい。人と人など、「つなげる」をイメージさせる点では、事務局案はいいが、神崎市はこんなまちである、と示せるようなものの方がいいと思う。

(委員)

まずあるのは「幸せ」というキーワード、そしてシンプルでわかりやすいことが大事という意見が出た。現在全国的に自然災害が多く、助け合いや支え合いが大事な時代である。それもキーワードとして持ちながら考えたい。

(委員)

名の由来にある神幸には、あらぶる神、すなわち自然災害も含めた厄災を収めたという言い伝えも含まれており、大事にしたい。  
「時代を超えて」というのは自然と歴史を示すものだと思う。サブタイトルとして使用するのはいいと思う。

(委員)

「幸」という言葉は使っていきたい。事務局案の「時代を超えて幸せをつなぐ」というのは、「支え合う」と同じ意味でも、より強く響くと思う。

(委員)

何でも将来に対する目標が定めれば手段も決まってくる。目標を何にするか決めた時に、将来像に関するキーワードが出てくると思う。助け合いや支え合いも、みんなが同じ方向に向かって力を合わせていく姿も、目標を決めた上でキーワードとして使っていきたいと思う。ただ、「神」を多用しすぎると宗教的ニュアンスを感じるので、「幸」を重点的に使う方が良く考える。

(委員)

市民ワークショップであがった「住んでみたい幸せあふれるまち 人と人がつながるまち神埼」はあたたかく感じる。それをもっとシンプルに「幸せあふれるまち神埼」がいいのではと思う。将来像は幸福な感じのするフレーズの方がいいと思う。

(委員)

これから神崎市の人口が減少した時に、神崎市は何を軸に勝負していくか、何を幸せの尺度とするのかを考えるべき。言葉は何でもいいが、誰がどんな役割で、何の仕事をするのか、1つ1つを繋げてストーリーを作り、それをシンプルな言葉で表現するのが将来像であると思う。ただ幸せ、というのは言葉としては弱い。

(委員)  
「時代を超えて幸せつなぐまち」、と「を」を抜かせば言葉としてスムーズな気がする。

(委員)  
神崎市では幸せの度合を示す尺度はあるのか。

(委員)  
市民アンケートでは、神崎市への満足度評価で8割が満足していたと思う。

(委員)  
しかし、満足度評価で100%が満足するのを目標とするのは、趣旨が違う気がする。

(委員)  
協働のまちづくりを進めていくのであれば「つなごう」という表現がいいと思う。

(委員)  
市の職員が施策に取り組んだ結果は、数字やデータとして共有できるものであるべき。共有できる目標値が将来像に近づいていると実感できるようになればよい。

(事務局)  
「幸せ」「つなげる」「支え合う」といった、わかりやすく、10年後それに向かって歩んでいけるようなキーワードを出していただきながら、フレーズを作成したい。いったん、今までに出たキーワードをつなぎあわせてみたい。

#### <10分休憩、つなぎあわせ作業>

(委員)  
すでに楽しくて面白いことが伝わるようなものはどうか。「楽しくおもしろい神埼！」など。

(委員)  
幸せつなごうかんざき、をベースに、「みんなで助け合い、支えあう」といったキーワードをサブタイトルとして入れてはどうか。

(委員)  
サブタイトルについて。現在の満足度は8割。それを10年後に9割、10割にするというストーリーがほしい。歴史・文化を大切にしたいという思いをこめて、「時代を超えて誇りあるまちを目指して」をサブタイトルにしてはどうか。「誇り」には人、歴史・文化、つながりなど色々あるが、すべてに対する愛着を作っていこうという意味も込めている。

(事務局)  
「幸せ」を使うことには皆さまの同意を得ていると思う。使い方として、「幸せつなごう」は協働イメージがあるという意見が出た。ほかにも「幸せあふれる」という案も出ている。事務局案にある「誇り」は愛着から発生するものであり、自然や歴史、人など、郷土への愛着が誇りとなるように、という意味を込めている。

(事務局)

今挙がっているのは「幸せつなごう神埼」「支え合い幸せあふれる神埼」「楽しくおもしろい神埼」の3案である。幸せは色々なところにつながり、様々な事業展開をしながら、一人ひとりにあった幸せを見つけるという趣旨である。

(委員)

具体的に言うと、幸せ子育てプラン、幸せ高齢者運動などといった目指す方向性を入れているか。

(委員)

神埼市は「幸せ」をキーワードに取り入れるのは今回が初めてか。

(事務局)

今回が初めて。

(委員)

「幸せつなごう 夢みる神埼」は、幸せは様々であることを含みつつ、みんなで共有できるフレーズではないか。

(委員)

満足度8割について。今の神埼の人はいろんな幸せを持っており、これを使わない手はない。あと少し頑張れば皆幸せになる。それを10年間の計画に入れる。

(委員)

これからの10年間で考えると、「つなごう」といった言葉があった方がいい。将来の10年を考える中では、「支え合い、幸せあふれるまち」というのは若干言葉として弱いのではないか。

(委員)

神埼では満足度も充分、歴史も充分、自然も充分。恵まれた状態だが、これからどうなるべきか、が重要。

(委員)

サブタイトルで表現してはどうか。

(委員)

特に若者は、地域の歴史・文化から意識が離れている気がする。「時代を超えて」というフレーズのもと、子どもたちや若者が歴史や文化に触れ、地域のことを知る機会を持てるよう、我々の世代が取り組んでいきたいと思う。その結果、もっと地域を意識してほしいし、誇りを持ってほしい。地域を知るといえるのは、地域づくりの基礎だと思う。

(事務局)

市民アンケートを見ると、市民協働のまちづくりが足りないといった意見が多かった。生活環境としては住みやすいとする傾向が高いので、あとは自助共助の精神が重要ではないかと思うので「支え合い、助け合い」という言葉は良いと思う。せっかくアンケートをとっているのだから、市民が望んでいることを求めていくのがよいのではないか。

(委員)

「支え合い」という言葉は、市民が市民の暮らしをサポートするイメージを持っている。例えば、高齢化で買い物が難しくなった人を助けるのは身近な支え合いである。そのような地域での支え合いも協働と言える。それが積み重なった結果、「幸せあふれるまち」になると、あたたかみを感じるし、協働の意味も含まれた、すべてを総括したフレーズになると思う。

(事務局)

地域コミュニティの維持が難しくなっている地区もあるので、そういった要素も入れたほうがいいのか。「助け合い、支え合い」といった意味の表現は適していると思う。

(委員)

主題はわかりやすく、補足はサブタイトルを入れるようにした方がいい。

(事務局)

「時代を超えて」というフレーズも出ているので、「時代を超えて幸せつなごう神埼」「幸せつなごう神埼」を主題にし、サブタイトルで「みんなで助け合い支え合うまちを目指して」を入れるのはどうか。「時代を超えて」を主題に入れるか、サブタイトルに入れるべきか。

(委員)

「つなごう」は現在進行形、「つなごう」はこれから、という感じがする。将来に向けてという意味で「つなごう」の方がよい。

(委員)

小学生の子どもたちが覚えられるように「幸せつなごう神埼」をシンプルな主題とし、それ以外はサブタイトルに盛り込んではどうか。

(一同)

異議なし。

(委員)

サブタイトルは重複する表現を抜いて「時代を超えて支え合い 誇りあるまちを目指して」はどうか。

(事務局)

つなごうというのは、後世につなぐ、地域をつなぐ等色々な意味がある。また、自然や歴史、人といった宝が神崎市にはあるが、それらを郷土愛と認識されたまちづくりを目指す、という意味を持たせたい。

(委員)

残った言葉は「時代を超えて」「誇りあるまちを目指して」となる。「支え合い」は「つなごう」に入るのではないか。

(委員)

「みんなで支え合い」あるいは「時代を超えてみんなで支え合い」を、「誇りある夢見るまちを目指して」などと組み合わせるとはどうか。

(委員)

ワークショップで市民協働を考えた時に、「支え合い」「喜び」という言葉を使った。

(委員)

「目指して」というと今はないという意味と捉えられる。あるいは、今あるもの・財産を「残す」という言葉にしてはどうか。

(事務局)

整理させていただくと「時代を超えてみんなで支え合い、誇りと魅力あるまちを残すために」となる。

(委員)

この場では「誇り」は自然や歴史と理解され、解釈されているが、これを打ち出した時に市民は理解できるのか。

(事務局)

説明を記載し補完する。

(委員)

「時代を超えて」の後に「支え合う」がくるのは文章的に違和感がある。「誇り」につながるのであれば理解できる。そもそも支え合ってみんなで誇りをもってやろうよというのが言いたいことから、それが主語になるべき。その上で「時代を超えて」を入れるか入れないかだと思う。

(事務局)

「みんなで支え合い、誇りと魅力あるまちを目指して」でどうか。

(委員)

「誇りと魅力あるまち」が気になる。「誇りを持つ」などとは言うが「誇り」と「魅力ある」の接続がよくないのではないか。

(委員)

「魅力」は一般的すぎる。「笑っている」「笑いあっている」とかの方がわかりやすい。「笑顔」でどうか。

(事務局)

「みんなで支え合い、誇りと笑顔あふれるまちを目指して」でどうか。漢字・ひらがなを確認したい。主題の「つなごう」はひらがな、「かんざき」はひらがなでよいか。

(委員)

主題とサブタイトル含め、「幸せつなごう かんざき みんなで支え合い、誇りと笑顔あふれるまちを目指して」とすることでよいか。

(一同)

異議なし。

## (2) 基本構想（案）について

(委員)

P13 について。課題 5 のまちづくりへ市民参加が必要というのは、市民個別ではなく市民団体の CSO などへの参加も促したい。市民も何かやりたくても、1 人でやるのは難しい。地縁として地元団体にも関わってもらうことで進んでいくのではと思う。

(事務局)

団体に参加してもらうことは重要。追加する。

(委員)

P22 について。誰もが安心して「幸せに」暮らせるなど、将来像を加味しながら修正を検討いただければ。

(事務局)

幸せを多用しすぎるとぼやけてしまうので、事務局で判断しながら追加していく。

(委員)

社会教育やスポーツ活動はどの項目に入るのか。P23 にある誇りづくりは学校教育だけでは限界がある。学校教育ならびに社会教育の充実、ととらえていいのか。

(事務局)

社会教育は基本方針 5、スポーツ活動は基本方針 1 に含まれている。基本方針 11 も含め、方針をまたがって重複する内容でもある。いったん整理してお示しさせていただきたい。

(委員)

- ・幸せがメインになるのだから、幸せを実現するようなことを書くべき。
- ・子ども達に「誇り（歴史など）」を伝えるためのシナリオが必要である。
- ・最終的に困ったことがあれば地域に頼るという現状だが、協働の仕組みを作ることが大切であり、その議論が必要である。
- ・国の調査では神埼市の人口は 3 分の 1 に減少する推計が出ていて、その半分しか減らさないという施策だがそれは本当にできるのか。

(事務局)

基本構想の中でそこまで詳細が記載できるか、あるいは基本計画や実施計画で記載すべきかは、庁内ワーキンググループなども含めて検討させていただきたい。人口目標については平成 27 年度策定の人口ビジョンにてここまで食い止める、ということを目標に指標を設け、総合戦略で定めた施策に取り組んでいる。幾分でも人口維持に努められるような方針を立てなければならないと考えている。

## (3) 基本計画（案）について

(委員)

目標数値が示されていないと十分に議論ができない。

(事務局)

目安となる目標を次回までに掲げたいと考えている。再度お示ししたい。委員の皆さんには再度基本計画案を見ていただき、欠けているところや時代に即しない部分がないかどうか、次回までに確認していただきたい。

#### (4) その他

(事務局)

次回審議会は1月23日以降で調整を行い、後日案内をする。

#### (5) 閉会

(以上)